

# 2014年3月 話題広告賞

「JAみなみ信州 竜ヶ丘支所 川路事業所」の  
川路保育園との取り組みが  
JA長野県食農教育優良組織表彰を受賞しました。

春、子どもたちはジャガイモを植え付け、遅だらで収穫をします。  
みんなで朝頃して作った夏野菜、収穫を庭に家に持ち帰る。  
家族が笑顔ではなかった大作び。  
畑の野菜がうらへ入ったトレーべー。  
支所で手配した、元農業材料を使った給食を  
みんなでいたいのも楽しい時間です。

最後は和らぎの福、福を刈り取ります。  
JA長野県の上位にはねむつて列行政委員会を見て、  
中さんは、いよいよ来年は  
自分たちの番だと乗り切れます。  
保護者にまつも。

家で貰せる頃はたまたま、わが子のたましい姿で活躍するひとときです。  
秋には収穫祭。保護者も関係者もどなたと同じ小さな座で、  
遠く海の内ごで暮らすお友だとのことを思ひやり、  
家庭で温かい食事準備のこと願ひながら  
米袋に貼る絵込みで描きます。  
長野市で育てた米の収穫式には、  
年長さんたちで電車に乗って来て下さりました。  
その帰り道、中さんは、年長さんに別れ引き離されたために  
町の材料にて自分で苗買って育てる時は頼もしくあります。  
そして多くの間、人が利用したおかげで  
牛ふんの施肥を拵めていて常に満います。  
朝冬にいたオカウケには、  
一回り成長した子どもたちの姿があります。  
さればに嬉しいビデオを撮り、年長さんは黙り立っています。  
平成18年に始めた川路保育園の食と農に触れる活動は、  
流行言葉をつながる歩みを実り歩みを集め  
今年で8年目になりました。  
期せずキーワードで「食べことは生きること」。  
食べ物はどこからくるのか、  
それを考えさせてくれる先生(農業)が、川路地域にはたくさんいます。  
地方活性化運動地で作ったジャガイモ園に参加せてもいい。  
JR長野駅構内の工作ワースト収穫したばらのジャガイモをいたたく。  
保育園のまきの農業で  
桃や梨を栽培させていただく。  
地域の強音である耕作の作り方を教わる。  
郷土で育てられたたの駄を教えてじ。  
子どもたちはある日の味と風景を記憶に焼き付けています。  
参觀者、子どもたちはまるよし大根田楽、不慣れな駄刈りへの参加一  
子どもたちとの触れ合いや農業体験をして、  
若い保護者も食育に対する興味と関心を深めています。  
そうして、地域のいいいの風景を引き寄せていくよう、  
地域を巻き込んだ食育の輪を広げていくことが、私たちの願いです。

川路保育園の子どもたちと保護者の心をひみて作った  
米袋と一緒に共同企画しました。

地域とともに、子どもたちに食と農の大切さを伝えます。  
**JA長野県食農教育優良組織表彰**

私たちが暮らす地域、日本、海外へと、「食」を通じてしあわせの輪を広げます。  
**国際協力田運動**

JA長野では、米をモチーフにした食の  
大切さを伝えていため、各種城下子どもたちの  
農業体験をしてきました。JA長野は、JA長野の  
取り組みを評議して「JA長野県食農  
教育優良組織表彰」を創設しました。平成25年  
度は11の店舗の中から、JAみなみ信州 龍ヶ  
丘支所の取り組みが受賞しました。

JA長野県グループ JA長野県農政対策会議

お問い合わせ先 : JA長野中央会 地域農政部 農政対策課 TEL:026-236-2030 E-Mail: agric@agr.ja.jp

※本件はPR記事です。当社はJA長野県にPR料金を支払っていません。

食べる」とは生きる」と

2014年3月11日付 15段

JAL長野中央会 [扱い ながのアド・ビューロ／制作 シード]